

矢嶋楯子生誕 180 周年記念連載

矢嶋家六女

やしま かしこ
矢嶋 楯子



矢嶋 楯子

天保4(1833)年矢嶋家の六女として益城町宮園に生まれる。

明治5年上京し、苦学の末、小学校・女学校の教師となる。明治19年、「日本キリスト教婦人矯風会」を設立し会頭に就任、婦人参政権・廃娼・

禁酒運動等に貢献した。また明治22年キリスト教系女学院(現 東京・女子学院)を創立し、初代校長となる。大正10年89歳の高齢でワシントン平和会議に出席の際、米ハーディング大統領より記念の花器を贈られ、その功を称えられた。大正14年従五位勲五等に叙さる。大正14年93歳没。

矢嶋楯子生誕180周年
記念式典

平成25年5月11日(土)・12日(日)

1日目

フィールドワーク(四賢婦人記念館周辺史跡)

2日目

矢嶋楯子生誕180周年記念式典(町文化会館)

実行委員会・ワーキンググループが
式典の準備を進めています

「矢嶋楯子生誕180周年記念事業」には、住永町長をはじめとする12人の実行委員会委員と、グループ長の富澤典子とみさわのりこさん(町男女共同参画社会推進懇話会会長)をはじめとする21人で構成するワーキンググループが携わっており、来年5月の式典に向けさまざまな準備を行っています。

矢嶋楯子生誕180周年記念事業実行委員会

問い合わせ先 町教育委員会生涯学習課
☎ 286-3111 内線 322

磨けば光る〃地域の宝〃

四賢婦人記念館を核とした
津森地区まちづくり助言・支援事業

町では、熊本県事業の「平成24年度地域づくりチャレンジ推進事業」により、四賢婦人記念館を核とした津森地区のまちづくりを推進・支援しています。津森地区には、津森神宮をはじめとする寺社仏閣や矢嶋家・四賢婦人ゆかりの文化財、潮井水源、堂園池

など歴史と里山の原風景が地域住民の手により今もなお大切に残されています。これらの豊かな資源をま

ちづくりにも活用するため、地場産品のブランド化や観光振興の分野について多数の実績を持つ、総務省アドバイザー砂田光紀すなだこうき氏(有限会社オフィスフィールド

創出などを検討していきます。

本年度この事業は5回実施され、専門家のアドバイスを受けながら住民と行政が一体となって、四賢婦人記念館展示や観光コースの

とを考えました。

本年度この事業は5回実

ノート)による助言を受け、取り組んでいます。

9月26日に開催された第2回のアドバイス協議では、「地域の宝」をテーマに、津森地区の囑託員がそれぞれ地域において自慢できるものを持ち寄り、どのよう



砂田氏からアドバイスを受ける囑託員の皆さん

町職員人事異動

平成24年10月1日付

新所属	氏名	旧所属
都市計画課 主査	鶴野 雅臣	水道課
水道課 技師	坂田 誠浩	下水道課